

 **Z-GIS**

機能マニュアル

Ver. 1.1.0

【レイミー連携】

2026.3.13

全国農業協同組合連合会



目次

1. レイミー連携機能とは	1
1.1 連携機能の概要	1
1.2 ユーザー登録とログイン	2
(1) レイミーアプリのダウンロード	2
(2) ログインユーザーの登録	2
2. レイミー連携機能	3
2.1 レイミーダイアログ	3
(1) 有効ユーザー・無効ユーザー	3
(2) データの取得	4
a. 各項目の説明	4
b. 出力ファイルの読み込み	8
c. 地図上に病害虫や雑草情報を表示させる	9
2.2 メールアドレスの登録・確認	10
(1) メール送信履歴についての説明	10
(2) メールアドレスの登録	13
(3) メール送信履歴からメールアドレスを削除	15
(4) 同じメールアドレスを複数回認証してしまった場合	16
(5) 登録メールアドレス一覧の出力	16
2.3 レイミー連携の解除	17
(1) 連携解除手順	17
3. データ移行時の作業手順	18
3.1 今まで使用していた Z-GIS アプリで行うこと	18
3.2 新しい Z-GIS アプリで行うこと	20
4. レイミー画像表示関連機能	23
4.1 サムネイル表示	23
4.2 オリジナル画像のダウンロード	25
4.3 サムネイル画像の拡大表示	26



Z-GIS 機能マニュアル

Z-GIS は、日常の事務作業の中で簡単に地理情報を含む情報の処理が行えるソフトウェアです。このマニュアルは、Z-GIS が持つ各機能の使用方法を解説することを目的としています。

Copyright © 2018-2022 ZEN-NOH All Rights Reserved



1. レイミー連携機能とは

この機能は、日本農薬社のレイミーの AI 病害虫雑草診断(以下、「レイミー」と言います。)が提供する農作物に被害を及ぼす病害虫や雑草情報を、Z-GIS から連携利用できるようにするものです。

レイミー機能のご利用には、申し込みが必要です。**ご希望の方は農協協会までご連絡ください。**

1.1 連携機能の概要

レイミーが提供する病害虫や雑草情報は、レイミーアプリ上でユーザーが登録したデータになります。

Z-GIS とレイミー間で連携を行うことで、現在レイミーで管理している病害虫や雑草情報の一部をレイミー側から取得し、Z-GIS 上で確認することが可能となります。

具体的には、Z-GIS の画面で登録したレイミーユーザー宛てに、レイミー連携リクエストメールの送信を行います。このとき、連携を行うためのレイミーアカウントは事前に作成しておきます。レイミー連携リクエストメールより、連携を承認したレイミーユーザーが登録したデータは連携解除までデータの取得を行うことが可能となりますが、**連携後90日以上レイミーのデータ取得操作がされない場合、認証(トークン)の更新が行われず、有効期限切れとなり、再度連携リクエストメールの操作が必要となりますのでご注意ください。**

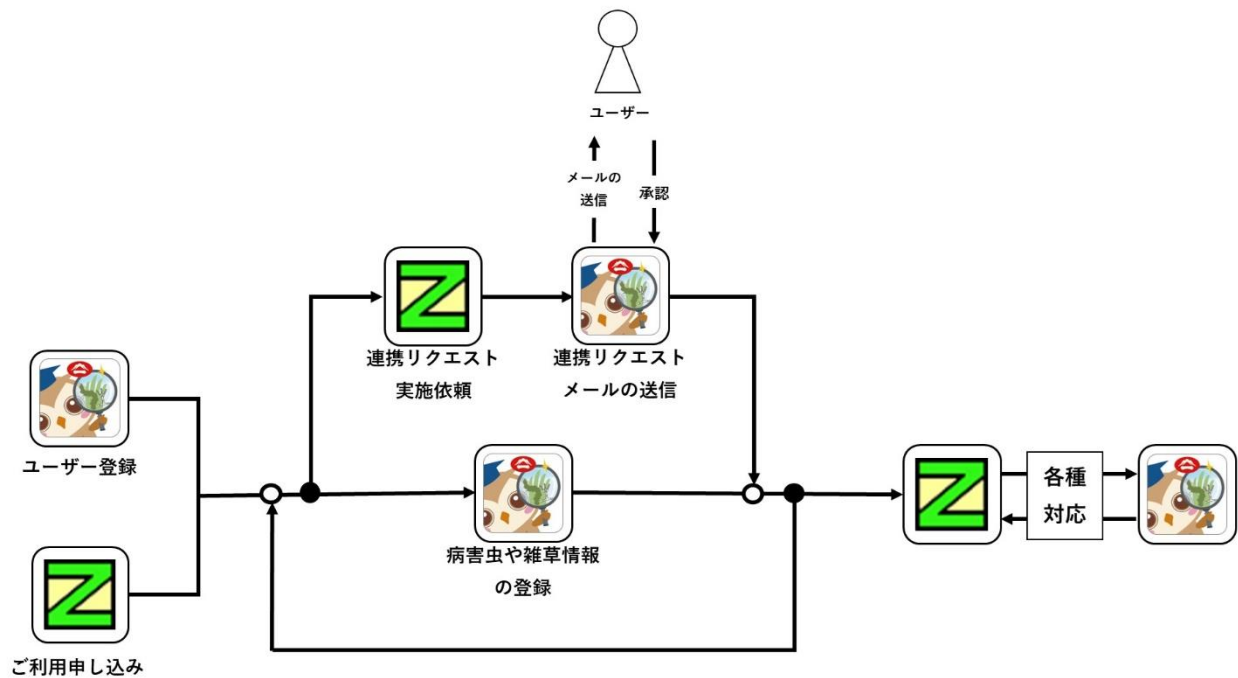


図 Z-GIS とレイミーの関係

[【目次に戻る】](#)

1.2 ユーザー登録とログイン

(1)レイミーアプリのダウンロード

レイミーと連携するためには、Z-GIS に登録済みのユーザーであっても、レイミーに対し改めてユーザー登録してレイミーのアカウントを取得する必要があります。

まず、お手持ちのスマートフォンにレイミーアプリのダウンロードを行ってください。

(2)ログインユーザーの登録

アプリをダウンロード後に初めて起動すると、「ゲストユーザー」としてアプリを利用できますが、この状態では Z-GIS とレイミーの連携機能を使用することはできません。

画面右下にあるマイページをクリックし、アカウント設定の「ユーザー登録またはログインする」よりログイン・ユーザー登録画面に移動してください。移動後、ログイン画面が表示されますので、既にレイミーアカウントをお持ちの方はそちらよりログインを、初めてレイミーアカウントを作成される方はユーザー登録画面より各項目を入力してアカウントの作成を行ってください。(詳細はレイミーの詳しい使い方をご参照下さい。)

[【目次に戻る】](#)

2. レイミー連携機能

2.1 レイミーダイアログ

(1) 有効ユーザー・無効ユーザー

Z-GIS を起動し、ツールバーをご確認ください。下記の上の画像のように「レイミー」ボタンが押せる状態の場合は、レイミー連携のご利用が可能です。下の画像のような状態の場合、レイミー連携をご利用いただくことはできません。ご利用にあたっては農協協会様への申し込みが必要となります。



図 レイミーボタンの状態

ツールバー上の「レイミー」ボタンをクリックすると、「レイミー連携ダイアログ」が現れます。レイミー連携ダイアログでは、実際にレイミーとデータのやり取りを行う際に使用する機能が搭載されています。

(2) データの取得

画面にある各種項目を入力し、データの取得ボタンをクリックすると、連携中のレイミーアカウントに登録されている記録データや診断データを、Excel ファイルとして取得することが可能です。Excel ファイルの保存先とファイル名は選択が可能です。

また、「メールアドレス追加・確認」ボタンをクリックすることで、レイミー連携に必要なメールアドレスの登録画面が表示されます。初回起動時や連携を行うメールアドレスを追加したい場合は、「メールアドレスの登録・確認」画面より追加を行ってください。

a. 各項目の説明

・記録データ

画面にある各種項目を入力し、「記録データの取得(Excel ファイル)」ボタンをクリックすると、病虫害や雑草情報などの記録データを Excel ファイルとして取得します。

図 レイミー連携ダイアログ

記録データは画面の項目に沿って、レイミー側よりデータの取得が行われます。取得されたデータは Excel ファイルで出力が行われます。

・開始日/終了日

この項目で設定された期間内に登録された診断データを取得します。どちらの項目も初期値は処理実施日になります。

・自信なしのみ出力

この項目にチェックがある場合、レイミー上で「自信なし」となっている診断データのみ取得されます。全てのデータを取得したい場合は、こちらのチェックを外して Excel ファイルの出力を行ってください。初期値はチェックなしの状態になります。

・利用シーン

この項目で設定された利用シーンのデータを取得します。1 つもチェックを付けていない場合は、全てのデータを取得します。初期値は全項目チェックなしの状態になります。

・分類

この項目で設定された分類のデータを取得します。1 つもチェックを付けていない場合は、全てのデータを取得します。初期値は全項目チェックなしの状態になります。

[【目次に戻る】](#)

・診断データ

画面にある各種項目を入力し、「診断データの取得(Excelファイル)」ボタンをクリックすると、病害虫や雑草情報などの診断データを Excel ファイルとして取得することが可能です。

Z-GIS レイミー連携

記録データ 診断データ

診断データの取得

開始日 2025年 2月18日

終了日 2025年 2月18日

診断手法の指定 全て

確定診断のみ出力

被害種別の指定 病害・食害 害虫 水田雑草 畑地雑草

作物の指定 ※選択が1つもない場合は、登録されているすべてのデータが出力されます。

<input type="checkbox"/> トマト	<input type="checkbox"/> きゅうり	<input type="checkbox"/> いちご	<input type="checkbox"/> なす	<input type="checkbox"/> キャベツ
<input type="checkbox"/> ブロッコリー	<input type="checkbox"/> はくさい	<input type="checkbox"/> レタス	<input type="checkbox"/> ねぎ	<input type="checkbox"/> チンゲンサイ
<input type="checkbox"/> こまつな	<input type="checkbox"/> だいこん	<input type="checkbox"/> かぶ	<input type="checkbox"/> カリフラワー	<input type="checkbox"/> かんきつ
<input type="checkbox"/> りんご	<input type="checkbox"/> たまねぎ	<input type="checkbox"/> ばれいしょ	<input type="checkbox"/> 水稻	<input type="checkbox"/> 野菜類
<input type="checkbox"/> 圃場の雑草情報				

メールアドレス追加・確認

診断データの取得(Excelファイル)

閉じる

図 レイミー連携 診断データ ダイアログ

診断データは画面の項目に沿って、レイミー側よりデータの取得が行われます。取得されたデータは Excel ファイルで出力が行われます。

・開始日/終了日

この項目で設定された期間内に登録された診断データを取得します。どちらの項目も初期値は処理実施日になります。

・診断手法の指定

この項目で設定された診断手法で登録された診断データを取得します。診断手法は「AI 診断」と「カルテ式診断」の 2 種類あり、「全て」を選択すると診断手法に関わらず、全件の診断データを取得することが出来ます。初期値は「全て」になります。

・確定診断のみ出力

この項目にチェックがある場合、レイミー上で確定診断となっている診断データのみ取得されます。未確定診断のデータも取得したい場合は、こちらのチェックを外して Excel ファイルの出力を行ってください。初期値はチェックありの状態になります。

・被害種別の指定

この項目で設定された被害種別のデータを取得します。必ず 1 つは選択した状態で Excel ファイルの出力を行ってください。初期値は全ての項目チェックありの状態になります。

・作物の指定

この項目で設定された作物のデータを取得します。レイミー上で「その他野菜」で登録したデータは「野菜類」、水稲以外の雑草情報をまとめて取得したい場合は「圃場の雑草情報」にチェックを入れてファイルの出力を行ってください。1 つもチェックを付けていない場合は、全てのデータを取得します。初期値は全項目チェックなしの状態になります。

[【目次に戻る】](#)

b. 出力ファイルの読み込み

出力された Excel ファイルは Z-GIS で読み込むことが可能です。

出力された Excel ファイルを Z-GIS のツールバー上の「開く」ボタン又はドラッグアンドドロップで Z-GIS に読み込むと、明細部に取得した情報が表示されます。

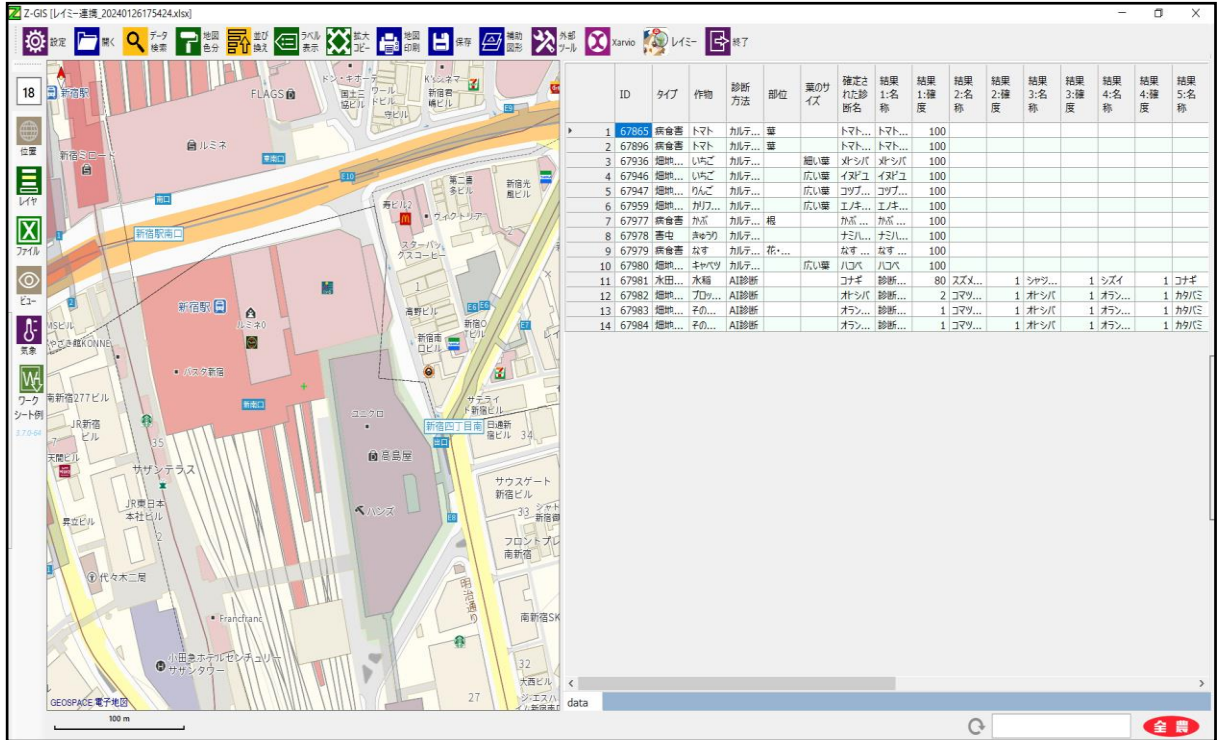


図 レイミー診断データ(Excel)を Z-GIS で読み込み時

このとき、条件に当てはまる診断データが存在しない場合でも、Excel ファイルの出力は行われます。出力された Excel ファイルに診断データが 1 件も含まれていない状態のファイルを読み込むと下記のようなエラーが表示されます。Z-GIS に読み込む前に一度 Excel ファイルを確認し、1 件以上情報が取得出来ていることを確認してください。

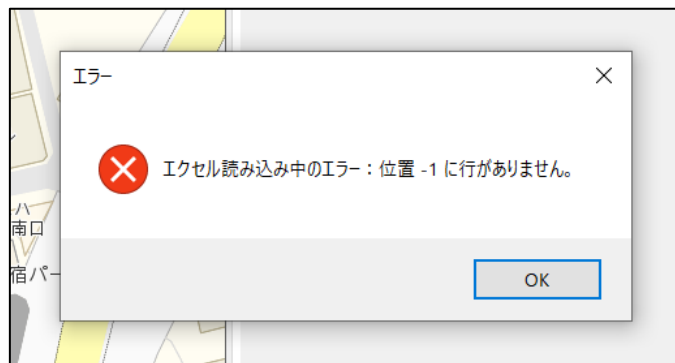


図 データが 0 件の Excel ファイルを読み込んだ場合

[【目次に戻る】](#)

c. 地図上に病害虫や雑草情報を表示させる

診断データは圃場とは違い、地図上にポリゴンではなくポイント(点)で表示されます。そのため、表示モードがポリゴン表示だと、Excel ファイルを読み込んでも地図上に印が表示されません。

レイミー連携で取得した Excel ファイルを Z-GIS の地図上で確認する場合は、Excel ファイル読み込み後に「設定」より表示モードを『マーカー』または『ポイント』表示に変更してください。



図 設定画面

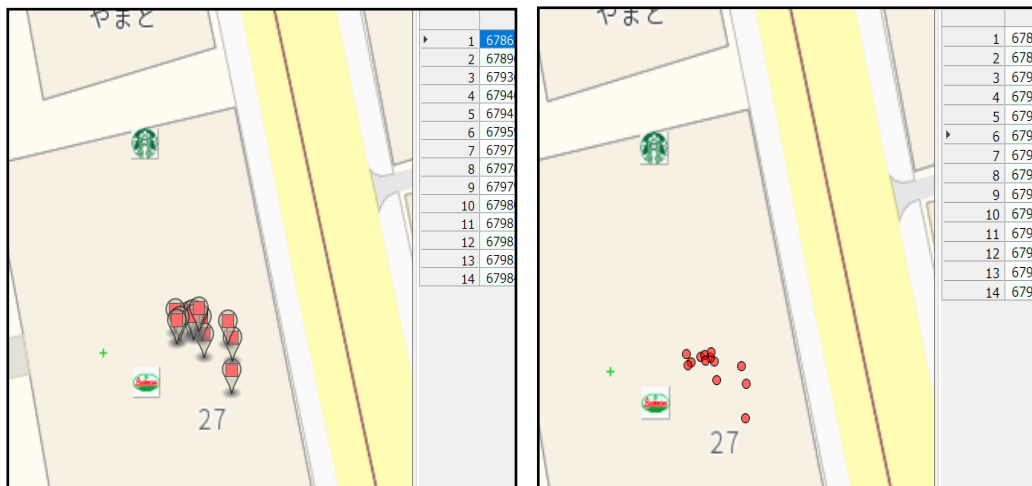


図 座標ポイントマーカー表示(図左)とポイント表示(図右)

上記の画像のように表示された場所は実際にユーザーが、レイミーアプリを使用して病害虫や雑草情報の登録を行った場所になります。

[【目次に戻る】](#)

2.2 メールアドレスの登録・確認

「レイミー連携 データ取得」画面の「メールアドレスの追加・確認」ボタンをクリックすることで、画面を開くことが可能です。

こちらではレイミー連携を行うためのメールアドレスの登録・確認を行います。

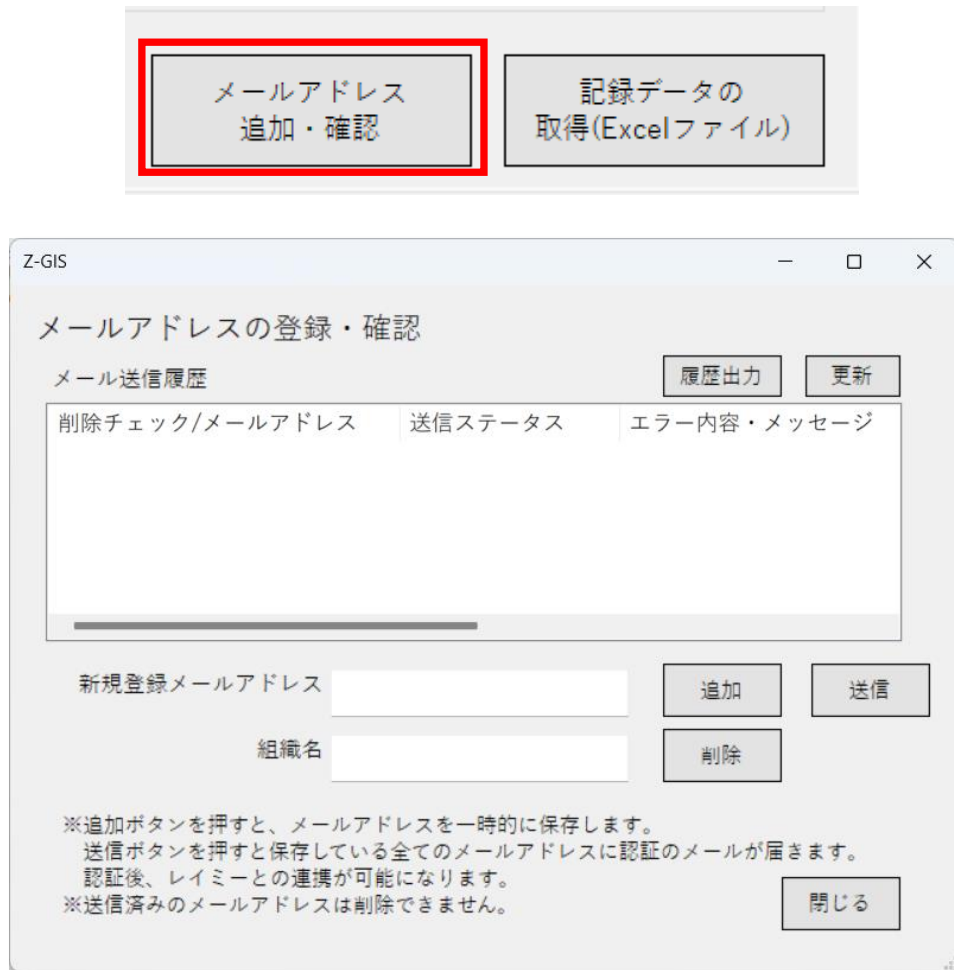


図 メールアドレスの登録・確認 画面

(1) メール送信履歴についての説明

メール送信履歴では連携認証前のメールアドレスや連携リクエストメールの送信結果などを確認することが出来ます。

【項目について】

・削除チェック/メールアドレス

ユーザーが新規登録メールアドレス欄で入力したメールアドレスと、一覧からメールアドレスを削除するときに使用するチェックボックスが登録されています。

・送信ステータス

現在、登録されているメールアドレスの状態を確認することが出来ます。ステータスは以下の通りです。

① 送信前

追加ボタンよりメールアドレスが登録は行われたが、連携リクエストメールはまだ送信されていない状態。この状態のメールアドレスのみ削除ボタンを用いて、メール送信履歴からメールアドレスを削除することが可能です。

② 送信中

送信ボタンをクリックしたことで、連携リクエストメールの送信処理が行われている状態。メール送信処理が完了後、ステータスは「送信済み」または「認証失敗」に変更されます。

③ 送信済み

連携リクエストメールの送信処理が完了した状態。Excel ファイルの出力を行った後に確認してもステータスに変化がない場合は、連携リクエストメールを受け取ったユーザーが連携認証を行っていない可能性が高いため、ユーザーに確認が必要です。

④ 認証済み

連携リクエストメールを受け取ったユーザーが連携認証を行った状態。以下を除き、認証済みのメールアドレスは現在連携中のメールアドレスになります。

※ステータスは「認証済み」だが連携中ではないメールアドレス

「エラー内容・メッセージ」に「レイミー連携解除済みのユーザー」と記載のあるメールアドレスは、既に連携を解除したユーザーのメールアドレスであり、データの取得は行えません。連携解除済みのユーザーのデータが再度必要な場合は、認証作業を改めて実施する必要があります。

⑤ 認証失敗

メール送信処理や他連携処理でエラーとなり、連携が行えない状態。この状態は「エラー内容・メッセージ」にエラーとなった原因が記載されているため、その内容を確認し対応後、改めて認証作業を行ってください。

[【目次に戻る】](#)

・エラー内容・メッセージ

メールアドレスの送信がデータの不備等で失敗した場合はエラー内容が、既に連携終了となったデータは連携解除済みである旨のメッセージがデータ毎に表示されます。

【並び替え】

メール送信履歴欄は各項目で並び替えが可能です。並び替えは並び替えを行いたい項目の、項目名をクリックすることで行われます。

項目名の右側に矢印がある項目で、並び替えが実施されています。矢印が↑の状態は「昇順」、↓の状態は「降順」で並び替えが行われています。

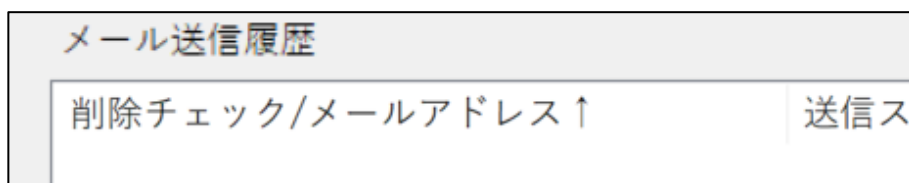


図 メール送信履歴 並び替え中の状態

[【目次に戻る】](#)

(2)メールアドレスの登録

新規登録メールアドレス欄にレイミー連携を行いたいメールアドレスを入力し、「追加」ボタンをクリックしてください。メール送信履歴欄の一番上に登録したメールアドレスが表示されます。

複数同時にメールアドレスの登録を行う場合は、メールアドレスの一括貼り付けが可能です。メールアドレスの一覧をコピーし、以下のどちらかを行うことで、メールアドレスの一括登録を行うことができます。

- ・メール送信履歴の上で貼り付けコマンド(Ctrl+V)
- ・メール送信履歴の上で右クリックをすると表示される「メールアドレス一括貼り付け」をクリック

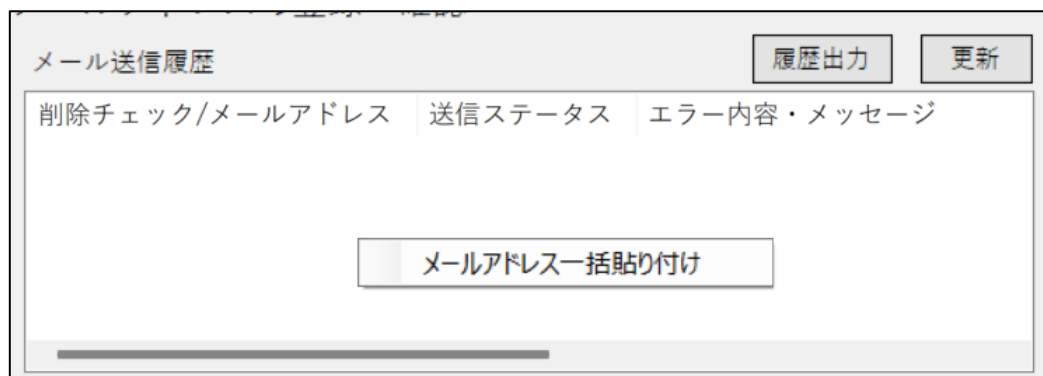


図 「メールアドレス一括貼り付け」項目

※エクセルより連続した指定の先頭セルから末尾のセルまで選択しコピー、

または、テキストファイルに記入しまとめてコピーを行い、クリップボードにデータが格納されている状態で貼り付けを行います。

このとき、以下の点にお気お付けください

- ・エクセルファイルではメールアドレスを横並びではなく縦並びで記入してください。
- ・テキストファイルではメールアドレスを横並び（「,」カンマ区切り）または、縦並びで記入することが可能です。
- ・テキストファイルの場合、横並びと縦並びが混在しすると、正常に読み込みが行われない場合がございます。

既に登録されているものはエラーとし、@が含まれていない文字列についてはメールアドレスと判断できないためエラーとします。

「送信」ボタンをクリックすることで、登録したメールアドレス宛に連携リクエストのメールが送信されます。メールはメール送信履歴欄にある送信ステータスが「送信前」のメールアドレス全てに送信されますので、連携が不要なメールアドレスが登録されている場合は、事前にメールアドレスをメール送信履歴欄より削除してからメールの送信を行ってください。

また、「送信」ボタンをクリックしたときに、「組織名」欄に組織名が登録されている場合、下記図の赤枠内に組織名が表示されます。(入力がない場合は「Z-GIS」という文言が固定で表示されます)

メールが届きましたら、メールの URL から連携の許可を行ってください。



図 連携リクエストメール(レイミーの仕様により文言が変更される場合がございます。)

メールの送信が終わりますと、Z-GIS 上に下記のようなメッセージが表示されます。正常にメールの送信が行われたメールアドレスはステータスが「送信済み」に、メールの送信に失敗したメールアドレスはステータスが「送信失敗」となり、エラー内容・メッセージにエラー原因が記載されています。エラーとなった際はエラー原因を確認し、再度メールの送信を行ってください。

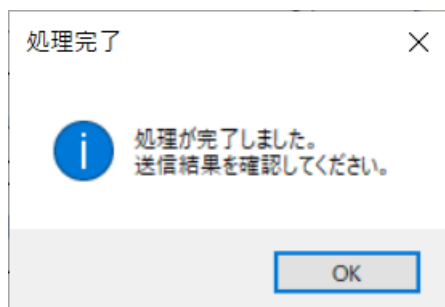


図 メール送信処理終了時のメッセージ

(3) メール送信履歴からメールアドレスを削除

メール送信履歴欄に登録されているメールアドレスのうち、ステータスが「送信前」となっている連携リクエストメール送信前のメールアドレスは、メール送信履歴欄からメールアドレスの削除を行うことができます。

削除を行いたいメールアドレスの横のチェックボックスにチェックを入れ、「削除」ボタンをクリックすることで、メールアドレスの削除は完了します。

また、削除対象外のメールアドレスに関しましては、画面上で非活性状態となっており、チェックボックスにチェックを入れることはできません。

削除処理は複数のメールアドレスをまとめて実施することが可能です。

(4) 同じメールアドレスを複数回認証してしまった場合

同じメールアドレスを複数回連携した場合、Excel ファイルを出力したときに同じデータが複数行出力されます。メールアドレスが重複した状態の連携は推奨いたしません。(重複した状態でも作業を行うことは可能です。)

また、間違えて同じメールアドレスを連携してしまった場合、次ページの「レイミー連携解除」画面に同じメールアドレスが複数行表示されていると思いますので、1 行のみ残し残りの連携を解除してください。

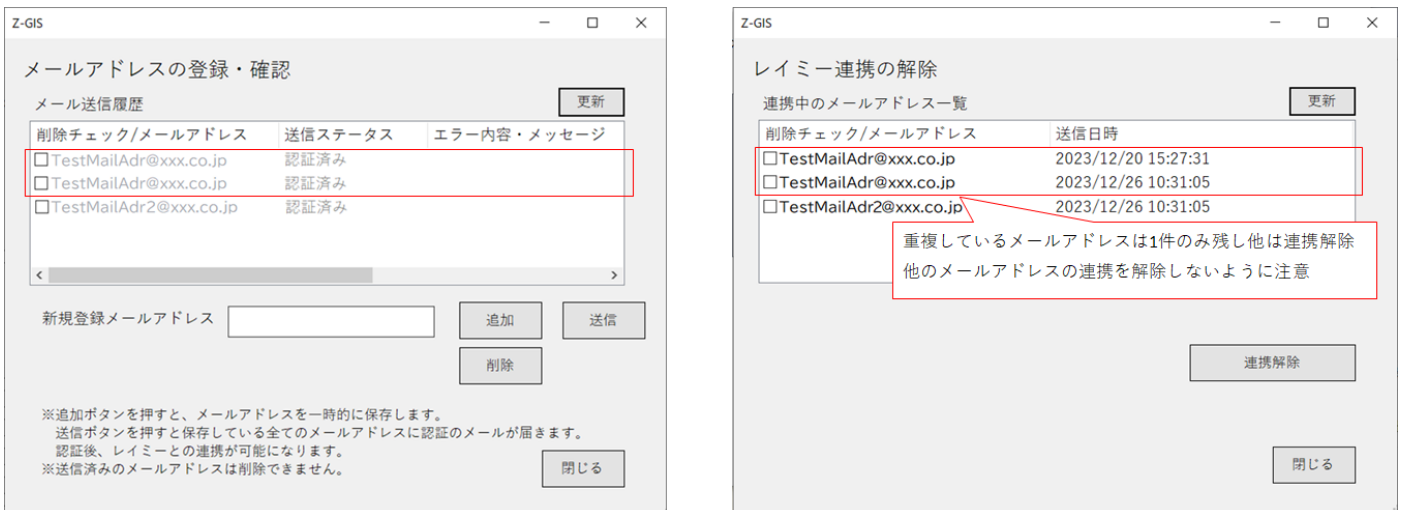


図 重複データが存在するときの各種画面

(5) 登録メールアドレス一覧の出力

「履歴出力」ボタンより、メール送信履歴に登録されている「メールアドレス」・「送信ステータス」・「エラー内容・メッセージ」を一覧で出力することが可能です。出力されたエクセルファイルはデスクトップに出力が行われます。

ファイル名 : yyyyMMdd·HHmmss_レイミーメールアドレス履歴.xlsx

※yyyyMMdd: 処理日 (西暦表示で 8 桁)、HHmmss: 処理時間 (時間、分、秒)

[【目次に戻る】](#)

2.3 レイミー連携の解除

現在、レイミー連携を行っているメールアドレスとの連携を解除する際に使用する画面です。この画面で連携を解除したメールアドレスに紐づくデータは、レイミーとのデータのやり取りが出来なくなります。

この画面は Ctrl ボタンを押しながら、「メールアドレスの登録・確認」画面の削除ボタンをクリックすることで開くことができます。

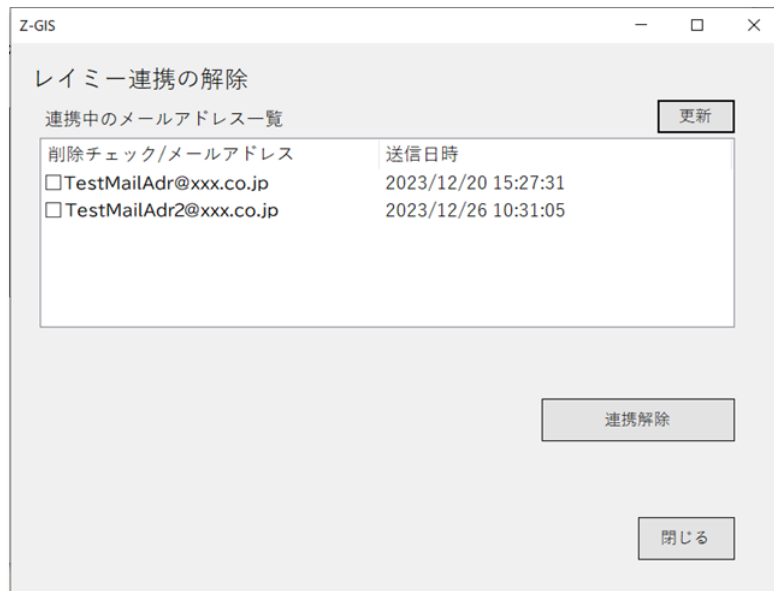


図 レイミー連携の解除画面

連携中のメールアドレス一覧に表示されているメールアドレスは、現時点でデータの連携を行っているアカウントになります。

連携を解除したメールアドレスと再度連携を行う場合は、「メールアドレスの登録・確認」画面よりもう一度連携のやり直しを行ってください。**一度実行した削除処理を取り消すことはできません。**

(1) 連携解除手順

削除を行いたいメールアドレスにチェックを入れ、連携解除ボタンをクリックしてください。連携中のメールアドレス一覧から該当のメールアドレスの標記が消えていれば、連携解除が完了しています。（「メールアドレスの登録・確認」画面の一覧は、レイミーダイアログの Excel ファイル出力処理を行いますと最新の状態に更新されます。）

連携解除処理は複数のメールアドレスをまとめて実行することが可能です。

[【目次に戻る】](#)

3. データ移行時の作業手順

PC の買い替えや Z-GIS の再ダウンロードなどを行う場合、以下の手順でレイミー連携中のメールアドレスのデータを引き継ぐことが出来ます。

レイミー連携中のメールアドレスを引き継ぐ場合は、引継ぎ作業を行ってから、他作業(新しいメールアドレスの登録など)をお願いします。

※引継ぎ作業を行う前に新しいメールアドレス宛にメールを送信してしまうと、引継ぎ作業を行うことが出来なくなります。引継ぎ前に連携リクエストメールの送信を行ってしまった場合は、引継ぎ作業を行わず、再度メールアドレスの登録・認証作業をお願いします。

3.1 今まで使用していた Z-GIS アプリで行うこと

「Z-GIS.exe」等が保存されている、64bit 版の場合は「ZGIS64」、32bit 版の場合は「ZGIS32」というフォルダを開き、中に「API」というフォルダが存在することを確認してください。(ご利用者様でフォルダ名を変更された場合はそちらのフォルダを確認してください。)

「API」フォルダ内には LamyMailList.txt や LamyApiToken.txt などレイミー連携を行うために必要なデータが登録されています。こちらが破損すると、レイミー連携を行うことが出来なくなる場合がございますので、ご注意ください。

LamyMailList.txt をコピーして新しい PC の Z-GIS 「API」フォルダへ移動させてください。

(API フォルダがない場合は手動での作成が可能です。)

同 PC 内で Z-GIS の再ダウンロードを行う場合は、LamyMailList.txt を消さないように別フォルダ等に保存してから再ダウンロードを行うことをお勧めします。

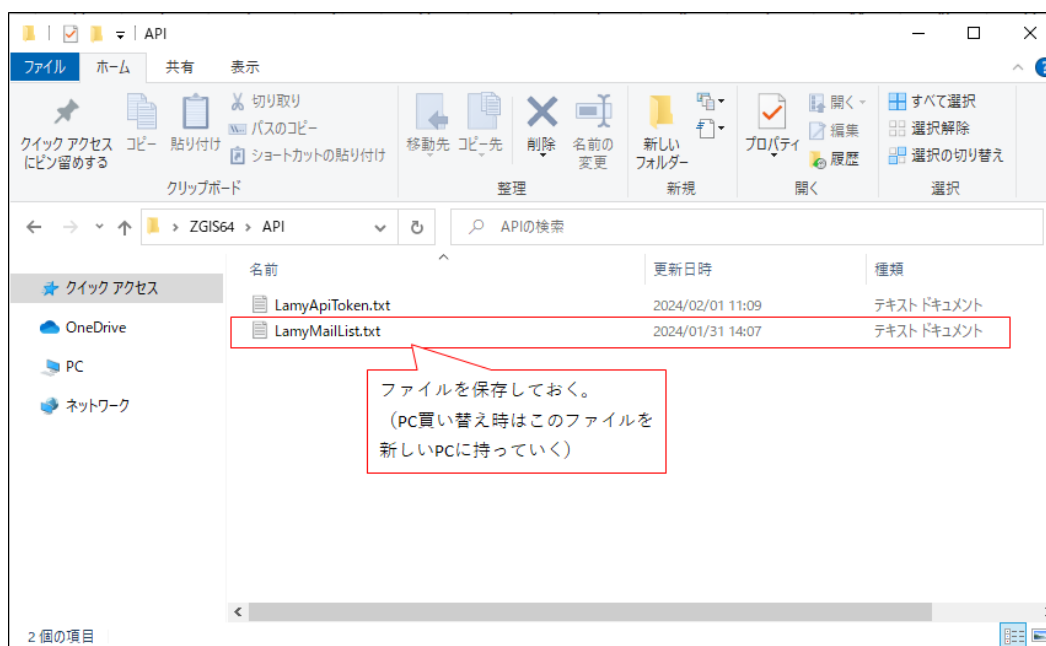


図 移行ファイル(LamyMailList.txt)

移行可能なメールアドレスはステータスが「認証済み」(連携中のユーザーのみ)のデータのみになります。他ステータスのデータに関してはデータの移行が出来ません。ステータスが「送信済み」のメールアドレスに関しては、移行前にメール認証を行っていただき、一度 Excel ファイルを出力することでステータスを更新していただくか、移行後に再度メールアドレスの登録作業を行っていただきますようお願いいたします。

削除チェック/メールアドレス	送信ステータス	エラー内容・メッセージ
<input type="checkbox"/> TestMailAdr@xxx.co.jp	認証済み	
<input type="checkbox"/> TestMailAdr2@xxx.co.jp	認証済み	
<input type="checkbox"/> TestMailAdr@xxx.co.jp	認証済み	レイミー連携解除済みの
<input type="checkbox"/> TestMailAdr@xxx.co.jp	認証済み	指定されたリフレッシュ
<input type="checkbox"/> TestErrMailAdr2@z-bs.co.jp	認証失敗	レイミーシステム内に指

新規登録メールアドレス

図 移行可能なメールアドレス(画像赤枠が移行可能)

[【目次に戻る】](#)

3.2 新しい Z-GIS アプリで行うこと

Z-GIS を再ダウンロードし、「ZGIS64」または「ZGIS32」のフォルダを開いてください。「Z-GIS.exe」をクリックし、Z-GIS を起動すると、フォルダ内に「API」フォルダが作成されます。

メイン画面よりレイミーボタンをクリックし、レイミーダイアログを起動後、「メールアドレスの登録・確認」画面へ移動してください。「メールアドレスの登録・確認」画面のメール送信履歴欄に**非活性状態のメールアドレスが登録されていない**場合、認証済みメールアドレスの移行が可能です。

※非活性状態のメールアドレス:ステータスが「送信済み」、「送信失敗」、「認証済み」のいずれか



データの移行が出来ない
(非活性のデータが登録されている)



データの移行が可能
(空欄 または 活性状態のメールアドレスのみ登録されている)

図 データ移行不可能な場合(図左)と可能な場合(図右)

「API」フォルダの中に 3.1 で保存していた「LamyMailList.txt」を移動させ、「メールアドレスの登録・確認」画面を開き直すか、「更新」ボタンをクリックしてください。

画面内に認証済みのメールアドレスが表示されましたら、データの移行は完了です。

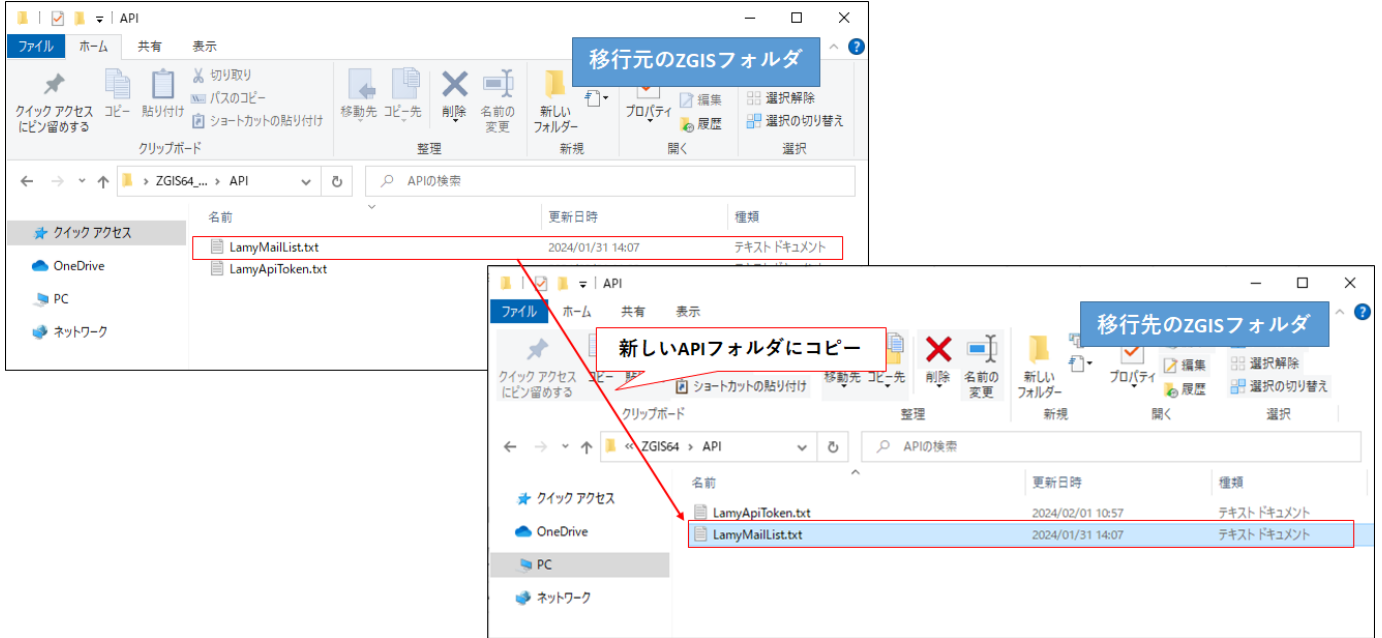


図 LamyMailList.txt のコピー

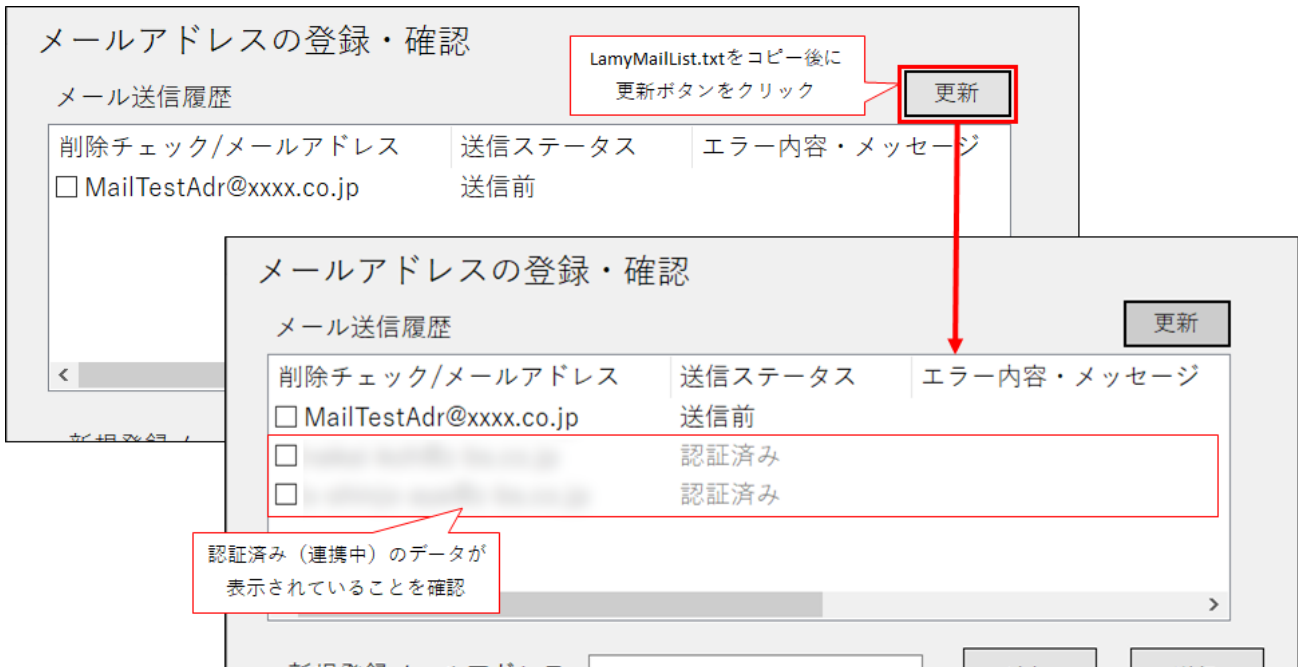


図 認証済み(連携中)のメールアドレスが履歴に追加される

また、同PC内での Z-GIS の再ダウンロードの場合、「メールアドレスの登録・確認」画面のメール送信履歴欄に今までの登録データが表示されている場合がございます。

この場合、「レイミー連携の解除」画面を開き、実際に連携中のメールアドレスをご確認ください。

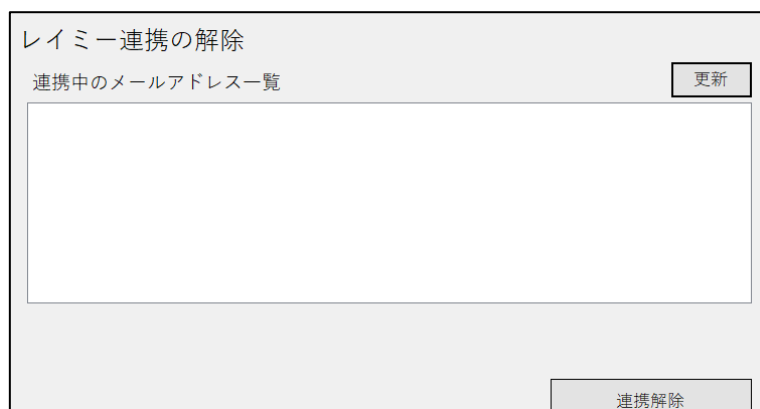


図 レイミー連携解除画面(連携中のメールアドレス 0 件)

上記のリストにメールアドレスが表示されていない場合、LamyMailList.txt の移行が必要です。保存していた「LamyMailList.txt」を「API」フォルダ内に移動させてください。

更新ボタンをクリックし、「レイミー連携の解除」画面のリストにメールアドレスが登録されていることを確認しましたら、レイミーダイアログの「診断データの取得(Excel ファイル)」から Excel ファイルを出力してください。出力された Excel ファイルに該当のデータが出力されていれば移行は完了です。

移行時に「メールアドレスの登録・確認」画面のメール送信履歴の更新が行われない場合がございますが、動作に影響はございません。

「API」フォルダ内に「LamyMailList.txt」が存在していない状態で Excel ファイルの出力を行うと、データの取得が行えません。必ず「LamyMailList.txt」の移動を行ってから運用を開始してください。

[【目次に戻る】](#)

4. レイミー画像表示関連機能

2.1(2)b にしたがってレイミーより取得した Excel ファイルを読み込ませます。

サムネイル表示の前提条件としては以下がありますが、2.1(2)の記録データの「記録データの取得 (Excel ファイル)」ボタンまたは診断データの「診断データの取得 (Excel ファイル)」ボタンより取得した Excel ファイルはこれらを満たしています。

a 記録データ

- Excel ファイルのシート名が「レイミー記録」ではじまる。
- 表示モードがポリゴン表示モード以外になっている。
※2.1(2)c に記載の通り、ポリゴン表示では、Excel ファイルを読み込んでも地図上に印が表示されないため、レイミー連携対象シートを読みませると自動的に表示モードを『マーカー』に変更します。
- 「レイミー記録」シートの属性表に image_path、thumb_path、またはユーザーID の項目がある。

b 診断データ

- Excel ファイルのシート名が「レイミー診断」ではじまる。
- 表示モードがポリゴン表示モード以外になっている。
※2.1(2)c に記載の通り、ポリゴン表示では、Excel ファイルを読み込んでも地図上に印が表示されないため、レイミー連携対象シートを読みませると自動的に表示モードを『マーカー』に変更します。
- 「レイミー診断」シートの属性表に画像パス、サムネイルパス、またはユーザーID の項目がある。

4.1 サムネイル表示

属性表の行またはセルをクリックするか地図上のマーカーまたはポイントをクリックすることでレイミーアプリと API 認証を行い、対応する画像を取得し、サムネイルを表示させることができます。



図 サムネイル表示

API 認証でエラーとなった際はエラーメッセージより原因を確認し、再度試行してください。

レイミーアプリから画像を取得できなかった場合は、noImage の画像を表示します。

(レイミー機能が利用できないユーザーがレイミーから出力された EXCEL ファイルを読み込んだ場合も下記サムネイル画像が表示されます。)



図 サムネイル表示(noImage)

表示させたサムネイルを非表示にしたい場合は、地図上のサムネイル以外の箇所をクリックします。

[【目次に戻る】](#)

4.2 オリジナル画像のダウンロード

サムネイルが表示されている状態でサムネイルを右クリックするとコンテキストメニューの中にダウンロードボタンが表示されます。



図 ダウンロードボタン

ダウンロードボタンをクリックすると、エクスプローラーが立ち上がるので、保存場所とファイル名を設定して保存ボタンをクリックすることで保存が完了します。

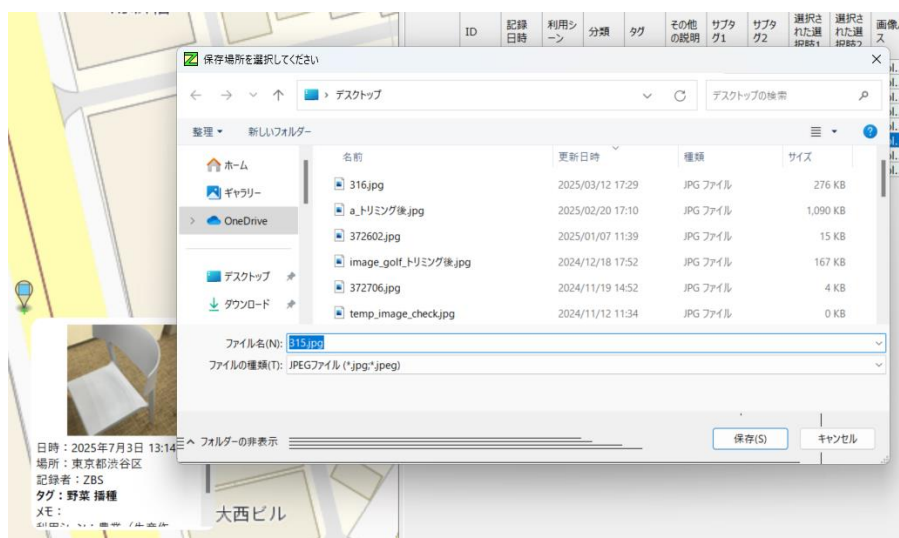


図 保存時起動するエクスプローラー

[【目次に戻る】](#)

4.3 サムネイル画像の拡大表示

サムネイルが表示されている状態でサムネイル画像(4.1 図 サムネイル表示参照)を左クリックすると、地図領域の中心にサムネイル画像を拡大表示した画像が表示されます。



図 サムネイル画像拡大表示(イメージ)

サムネイル画像を拡大表示した画像を非表示にしたい場合は、地図上の拡大表示された画像以外の箇所をクリックします。

[【目次に戻る】](#)